NPO法人　子育てネットワーク

ピッコロ 通信

2011.7.25

No.104

NPO法人　子育てネットワーク･ピッコロ
〒204－0021東京都清瀬市元町1－5－16―101
Tel090－8304－1076　Fax042－492－1139
http://www.piccolonet.org/

すべてはNPO法人として目的を達成するために

代表理事　小俣　みどり

つながっていく支援の大切さを思う

はじめに、震災があったことを受け、私たちは、ピッコロとして出来ることを考え、支援していくことが大切だと感じています。

一団体としてでは、できないことも、人と人、団体と団体がつながり、ネットワークを組むことで、想いを支援のかたちにしていくことができます。

３月１１日、ピッコロへの保育依頼も入っており、緊急時にも変わらずに提供会員はそれぞれの活動を行い、家族を支えました。今後は、緊急時の対応についてもっと具体的に考えていくことが必要になってきます。

被災地から避難してきた家族が、東京、そして清瀬市にもいます。ホームスタートの活動をしているピッコロは、その良さを活かし、家族を支える活動ができると思っています。

新たなスタートに向けて動き出した年

今年度は、ゴールドマン・サックスのチームによるプロボノプロジェクトを受け、事務局のメンバーが学びながら、活動を進めました。

プロボノチームの方々は、ピッコロの活動に共感し、期待し、ピッコロの支援をすることを選んでくれた方々です。

ピッコロの５年後、１０年後を見据えた活動を考えていく大切さ、何のために活動していくのか、ピッコロの理念の再確認。そして、会議の持ち方および新規事業への取り組み方等、講師の先生を呼んでいただき、具体的な研修も受けました。

日々の活動を進めながら、六本木のゴールドマン・サックス社へ足を運んだり、休日にも打合せが行われましたが、プロボノチームの方々の真摯な態度に、大変さよりも、変わっていくことに足踏みすることなく、団体としての新たなスタートを歩み出していくことを決意した事務局一同です。

NPO法人としての役割を達成する

当法人の目的は、定款に定められた「年齢・性別や障がいにかかわらず地域に暮らすさまざまな人々を対象に事業を行い、地域と家庭とのネットワーク化を進め、子育てが楽しいと思える環境づくり、地域で支え合う子育て支援に寄与すること」です。

これは、昨年の総会で、見直され承認されたものです。私たちの活動は、非営利であり、資金は、活動の運営に充てられます。

「（仮称）みんなのお家」を目指し、場所を決定し・・・というところまで、一時は進んだ活動でした。しかし、自分たちの目指していることは、何なのか・・・そして、地域のニーズがあるからこその活動であり、それをとらえ、私たちの新たな事業をつくっていくべきと、一度、足を止めました。
よりよい「（仮称）みんなのお家」をつくっていくために、ニーズ調査も行い、地域の高齢者支援を行っている団体とのネットワークを進めていくことを決めました。他団体のみなさんからは、二つ返事で、ピッコロといっしょに行っていくことを心良く受けてくれたこと、本当に嬉しく思っています。この地域の中で、活動してきたことが、認められているからこそ、良い返事をもらえたと感じています。

会員の方々と共に、清瀬市を中心として、できることを、できるだけの力を出し合い、ネットワークを大切に活動していくことを改めて宣言します。

第8回定期総会終える

6月4日（土）の総会には、清瀬市より新市長の渋谷金太郎さんが、予定を早く繰り上げて駆けつけてくださった上、幼稚園の園長をしていた教え子さんからいただいたというお手紙をご紹介くださり、温かい雰囲気になりました。また、財政部長、健康福祉部長、子ども家庭支援センター長が、お忙しい中ご出席いただきご挨拶いただきました。

平成22年度事業報告及び収支決算報告、平成23年度事業計画及び予算書が審議され、無事に終えることができました。

議事には、法律が変わったことで定款に使われている用語に一部修正がありました。定款につきましては、近々公開いたしますのでご覧ください。また、寄付者が寄付しやすい環境を整えるため、「認定 NPO の取得」について学びながら考えていくことに決まりました。この認定 NPO については、正会員から、貴重な前向きな意見が出ました。　総会終了後は、慰労会で交流を深めました。

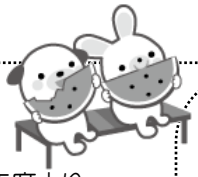
駅近!クリニックの中だから安心!
病児保育室オープン!登録はお済みですか?

武蔵野総合クリニック病児保育室『チルチル ミチル』は、9 月 1 日開所予定です。
この事業は、武蔵野総合クリニックからピッコロが運営委託されました。

●第2回登録説明会開催

8 月 21 日（日）10:30～12:00/13:30～15:00 アイレック会議室

＊　清瀬市在住の方は登録無料。他市の場合は有料となります。
＊　今回は午前、午後の2回行います。



赤ちゃんが学校へ！

清瀬第5中学校で出前講座

朝日新聞厚生文化事業団の助成を受けて昨年度より取り組んでいる「赤ちゃんのチカラプロジェクト・子育てサポーター養成出前講座」を行いました。

家庭科選択の生徒12名が受講しました。
校長先生や家庭科の先生が大変熱心にすすめてくださり、実現しました。今後、市内の小学校や中学校で実施する予定です。

まだ首が座っていない赤ちゃんから2歳のお子さんや9月に出産を控えているママの参加もありました。どのママも快く引き受けてくださり、ありがとうございました。

（生徒さん感想より）

自分の子育てのイメージがわいた★自分も子どもを産みたくなった★ふわっとしている★私も大事にそだてられたんだ

ピッコロツール作成開始!

ゴールドマン・サックス社員のチームによるコミュニティ支援プログラムに出会って間もなく1年。最終提案を受けて、ピッコロの理念や活動内容が分かるツールの作成を進めています。

社員の方がお休みの日にピッコロが提出したデータをまとめてくださったり、休暇をとって写真撮影に清瀬まで来ていただけるということです。

ピッコロ事務局もツールグループを組んで取り組みます。

昨年、清瀬社会福祉協議会の助成を受けて利用者さん向けに HP 修正をしましたが、このピッコロツール作成が出来たところで、サービスグランドさんに再度助成申請し、取り組みたいと考えています。

ピッコロと出会って

ピッコロは
かけがえのない
パートナー

利用会員　0 さん

私たち親子は、現在品川に住んでいます。

ピッコロの方たちと出会ったのは、長女が2歳9ヶ月、次女が8ヶ月のときでした。

突然、妻が家を飛び出したことがきっかけで、男手ひとつで子育てをすることになり、どうしたらいいのかわからず困っている時でした。子どもたちの保育園へのお迎えをお願いすることになりました。私は、当時、清瀬から都内の職場まで通勤していたため、お迎えのサポートがどうしても必要になったからです。

今思い返すと、よく生きていたなと思うこともしばしばです。その心の支えとなり、家族を守ってくださったのが、今のピッコロの方たちでした。けっして、一人じゃないということをいろんな方たちの手助けからメッセージとして受け取ることができ、今に至っています。

今も1年に2回ほどですが、わざわざ品川までお越しいただいて、サポートを続けてもらうことがあります。子どもたちもＩさんなの？Ｎさんなの？と親についで安心して過ごせる人として覚え、私に見せない顔をみせて、私とはしないような体験までさせていただいて本当に有難い存在となっています。これからも、私一人で抱え込むことなく、無理なときは、気軽に声をかけさせてもらえればと思っています。

『ピッコロ』は、いつも私たちの家族の隣で伴走してくださるかけがえのない支え手となりうるパートナーです。

サポートをして

ポケモン好き少女の保育

提供会員　天田季夜美さん

今から4年前、学童保育所から利用会員宅での保育を受けていた時のこと。初めての出会いは、学童へ迎えに行き、自分の名前を告げ、待っていると元気良い少女がポケモンの絵を書いたものを渡してくれました。そこには、“天田さんへ”と書かれていて感動しました。

そして、その日から少女とは毎日学童から自宅への帰り道、エアーポケモンバトルの始まりです。ポケモンを連れ、旅をする主人公の名前・年齢・ストーリーの設定など、多種多様に使い分けてバトルを繰り返します。

バトルは家に着いても続き、ポケモンカード、フィギュア・ぬいぐるみと飽きることがありませんでした。それでも、たまにトランプ・オセロ・手袋ドッチボールなどと思い出多い保育でした。

定例会5・24より・・・

理事会において、つどいの広場のアドバイザーの定年制について議事にあがったとの報告を受けて、提供会員が「私はもう辞めなければ…」と言い出す方も。しかし、「ピッコロの仕事は、いろいろな保育がある。その中で自分が出来る活動をやっていけばいいと思う」と言う方も。

現在、早朝や夜、自由に動けるのは 60 歳以上の会員さんが主になっています。まずは、つどいのアドバイザーの業務内容をはっきりさせて、ピッコロの保育とは別に考えていく必要もあるかもしれません。

2ヶ月に1回定例会が開催されます。定例会は、提供会員の研修の場にもなっていますので全員の方の出席をお願いしています。

ピッコロ提供会員（5/24 定例会にて）

ホームビジター修了生のみなさんへ
11/22ホームビジタースキルアップ研修会開催。（女性会館/埼玉県嵐山町）
＊詳しくは後日。予定しておいてください。

《会員状況 2011.7.26 現在》 正会員52 名 ・ 準会員 145 名 ・ 賛助会員 9名

賛助会員　NPO 法人情報労連東京福祉センターさま・NPO 法人 i-net さま・宇都宮病院さま・麦倉直美さま
佐々木早苗さま・星野輝子さま・土金百合子さま・栗林圭子さま・鈴木隆司さま

寄付　石原經子さま・小林典子さま・水野里子さま・永滝幸子さま

――――*ピッコロ*はいつでも賛助会員を募集しています。活動を維持していくために寄付も募っています――――

6～7月の動き

○ピッコロ　△K-net、つどいの広場　◆ファミサポ
HS＝ホームスタート　HV＝ホームビジター

6/2(木)△K-net おかあさんのためのﾘﾌﾚｯｼｭ講座
6/4(土)○第 8 回定期総会/17:30～交流会
6/6(月) ◆ｻﾌﾞ/ｱﾄﾞ調整会議
6/7(火) ○「全国保育グループ支援連絡会総会及び研修会
6/8(水) △K-net 運営会議
6/9(木) ○事務局会議
6/10(金)△K-net 子育てひろば
6/12(日)◆全体交流会　△ひろば全協総会
6/13(月)△つどいの広場ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ会議
6/15(水)△K-net 中里ひろば
6/20～7/20○ホームビジター養成講座
6/21(火)△元町つどいの講座「おやこいっしょにﾘﾄﾐｯｸ」
△竹丘つどいの講座「おやこいっしょにﾘﾄﾐｯｸ」
6/23(木)△K-net 子育てひろば
7/1(金) △K-net 子育てひろば
7/3(日)○武蔵野クリニック病児保育室登録説明会
7/4(月)◆ｻﾌﾞ/ｱﾄﾞ調整会議
7/7(木)○事務局会議
7/11(月)△K-net おかあさんのためのﾘﾌﾚｯｼｭ講座「沖縄料理」
△つどいの広場ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ会議
7/12(火)△K-net 運営会議
7/20(水)△K-net 中里ひろば
7/21(木)○事務局会議
7/25(月)○定例会
7/26(火)K-net ジュニアサポーター養成出前講座

ーこれからの活動予定ー

○ピッコロ　△K-net、つどいの広場　◆ファミサポ
HS＝ホームスタート　HV＝ホームビジター

8/1(月) 9:15～ ◆ｻﾌﾞ/ｱﾄﾞ調整会議
8/5(金)10:00～△K-net 子育てひろば
8/8(月)13:00～△つどいの広場ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ調整会議(けやきﾎｰﾙ)
8/9(火)12:30～◆乳児健診(ファミサポ説明)
8/10(水)9:30～○事務局会議(事務所)
8/12(金)10:00～△K-net 子育てひろば
8/17(水)10:00～△K-net 中里ひろば(中里地域市民センター)
8/21(日)10:30～/13:30～
○病児保育室「チルチルミチル」登録説明会
8/25(金)9:30～ ○事務局会議
8/27(土)28(日)10:00～15:30 武蔵野総合クリニック内覧会
8/29(月)10:00～○正会員のつどい(けやきホール)
9/1(木)○武蔵野総合クリニック病児保育室
「チルチルミチル」オープン！
9/5(月)9:15～ ◆ｻﾌﾞ/ｱﾄﾞ調整会議
9/6(火)9:30～ ○子育てサポーター養成講座
9/7(水)9:30～ ○事務局会議(事務所)
9/8(木)9:30～ ◆スキルアップ研修会(アイレック会議室)
提供会員さん参加してください。
9/9(金)10:00～ △K-net 子育てひろば(アイレック)
9/12(月)13:00～△つどいｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ調整会議(けやきホール)
9/13(火)10:00～△K-net 運営会議
9/20(火)15:00～○赤ちゃんのチカラプロジェクト委員会
9/21(水)10:00～ △K-net 中里ひろば(中里地域市民センター)
9/22(木)9:30～ ○事務局会議
9/26(月)9:45～ ○定例会(けやきホール)
9/30(金)9:15～ ◆サブｱﾄﾞ調整会議

《編集後記》

地域の中につながりを持つ。

震災が起きてから、いろいろな場面で言われている。簡単なようだが、現代の生活状況を考えるとなかなか難しいかもしれない。

マンションやアパートだけでなく、一戸立て住宅に住んでいても、近所にどういう人が住んでいるのかさえわからない状況がある。最近のマンション販売の際、購入した方同士が交流を持つ場を設定するとのTV報道があった。

地域の中に知り合いが出来ることは安心につながる。

ピッコロの名称の中にはネットワークという言葉がある。人と人、団体と団体、地域と地域をつなげていくことが大切。ピッコロだけで支援していくのではなくいろいろな人の力を借りて、さまざまな機関と連携をとって支援することが大切なのだ。

ファミリー・サポートきよせは、ある意味で地域の中で人と人をつなげる役割を果たしている。0歳と1歳の年子の子どもを持ち、この6月仕事をスタートしたひとり親の方がいる。「ファミリー サポートで本当に困ったときに応援してもらえるから頑張れる」と話す。

ひとりで頑張らなくていいよ…という子育てが日本中に広まったらいいな。